

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和4年2月20日発行

No.141



(雪の伊勢山と妻籠城址)

今シーズンは早くから気温が低く、寒い冬のように思います。また、昔のことを思えばやはり雪が少ないのかもしれません。30～40年前には校庭で雪合戦をしたり、すべり台を作ったりして遊べました。

雪といえば結晶は全て六角形だそうです。上空に水蒸気が多くあり気温が -15°C 程度だと雪模様としてよく描かれる樹枝状態になり、上空が寒すぎたり水蒸気が少ないと六角柱や六角板になるそうです。

寒い冬ですが、目を凝らして結晶の形を見ても、この季節ならではの過ごし方かもしれません。

小笠原 美雪

リニアトンネル土捨て場問題

理事長 藤原 義 則

昨年12月7日妻籠区長会主催で尾越地区の蘭川右岸残土置き場、ホテル木曽路駐車場、旧特殊精鉱工場（リニア工事残土置き場候補地）の視察会が計画され参加しました。

蘭川右岸残土置き場は積み上げた土砂が流出してまさにグランドキャニオンのミニチュアの如くの状態でした。野積状態で流失防止策が講じられていない状態です。（写真参照）



木曽路ホテル駐車場は昨年8月の大雨の後長野県の緊急チェックで崩落が見つかり観察中の場所です。（県の注視箇所）旧特殊精鉱工場跡地は蘭川側が急傾斜地となっており以前は洞と畑・土手を切り取り谷を埋め、工場用地に改変したところと聞きました。

【新たな土捨て場候補地が示される】

昨年12月9日第32回南木曽町リニア中央新幹線対策協議会が開かれました。議題は中津川市瀬戸トンネル工事及び、下伊那郡豊丘村伊那山地トンネル工事における切羽肌落ち事故（トンネル先端部の崩落）の報告と広瀬、尾越、山口工区の工事進捗状況についての説明や発生土置場候補地（尾越、旧特殊精鉱工場跡地）についての説明でした。

この工場跡地については、昨年11月7日妻籠分館で行なった説明の時出た意見を入れたの補完説明でした。ボーリングの追加と蘭川法面の急傾斜地への補強盛土の見直し等の説明でしたが、急傾斜地そのものについては触れていませんでした。地域の意見を取り入れてと言われましたが、事前に改変前の調査をしっかり行い安心できる説明にすべきと思います。

さらには新たに「ホテル木曽路」周辺で4カ所の候補地が示されました。旧木曽路館跡地・ホテル木曽路東側（旧貴泉館とホテルの間）・旧採石場（押手沢上流

部）・ホテル下蘭川右岸盛土場です。

当該地域はハザードマップ上レッドゾーン、イエローゾーンであり南木曽特有の気候・地質・地理的条件から蛇抜けの発生リスクを考慮すれば盛土、埋め土の場所には不向きであり反対の表明をしました。

当初リニアの概略説明の時、当時の町長が南木曽町は蛇抜けの常襲地であり土捨て場に適する場所はないと言われたことを思い出します。妻籠地区はかつての蛇抜けで何度も大きな災害を受けた地域であり「人命、財産を守るため」候補地とすることは反対であります。（JR東海絵図）



【町水道水源予備的処置について】

リニア工事で町水道水源予備的処置（水道水源の水の減少等が発生した時すぐに給水できる供給ルートを確認しておく設備）は昨年2月の委員会議で、JR東海は尾越工事ヤードの工程表で2021年第2四半期には完了して町へ引き継ぐことが示されていたにも関わらず今回の変更では、町が工事を行うように改変されました（JR東海の丸投げ）。町に人、金、時間の対応余力があるのだろうか。約束の時期を過ぎてからこのようなことになりJR東海の言動には信頼性が持てません（契約書の内容も守らない）。

リニアトンネル工事そのものは水道水源予備的処置が終わらない限り始めない約束であるから、工事の遅れるのは自責となります。しばらくは目が離せない状況です。



（旧特殊精鉱工場跡地）

(一社)南木曾町観光協会専務理事 樋口 信雄

コロナ感染の影響が南木曾町の観光業に大きな影響を及ぼしながら、新しい年が明けました。恒例の「新春放談会」が妻籠を愛する会事務所で静かなうちにも、和やかに開催されました。久しぶりに参加させていただきましたが、おなじみの顔ぶれのなか、奈良県今井町から大物客人が参加されており、妻籠を愛する会の、広域交流の歴史に改めて頭が下がりました。協本陣「奥谷郷土館」のいろりを囲みながら、住民の話合いを重ねていた時代に、町並み保存の原点があると聞いたことを思い出します。日本で初めて自然景観も含めた町並み保存と観光の両輪で発展してきた妻籠ブランドが、新型コロナウイルス感染に打ち勝つ一手かと期待するところです。

参加者全員からそれぞれの関係した立場からの今年の抱負やプライベートの近況を語りながらの和やかな交流会でした。今井町から参加された若林稔会長が、妻籠宿の保存と観光の事業がお手本になり、今井町でも妻籠を手本に事業推進をしていく固い決意を述べられました。

コロナ禍の中でじっと我慢の時ではありますが、全米のベストセラーの「死ぬまでに一度は行きたい世界の1000箇所」の1つに選ばれた妻籠が、初心にかえり「文化文政風俗絵巻行列」ができることを期待して新春放談会の感想にしたいと思います。

**妻籠宿案内人の会 松瀬 康子**

毎年、新年の恒例行事となっている新春放談会、今年も参加させていただきました。

口は禍の元と言われていたり、言葉少なにニコニコしている女性を美しい人とする美学がこの国にはあるようですが、私はその真逆にいて、夢中になると眉間にシワが寄り、一気に畳みかけるようにもの申してしまいます。そこで、持ち時間5分という限られた時間にどれだけの思いを伝えられるか。私にとっては一年の計をここで確認させていただく、もってこいの場所となっています。

この放談会でお話させていただいたこと、必ず成就させようと、参加された皆様の前でお話させていただくのです。

今年は時間制限の鐘を鳴らす方がいなくて言いたい放題になってしまいました。しかし、この言いたい放題がなんとも痛快で、年の初めに誠にありがたい気分にさせていただきました。そこで、この「新春放談会」を改名し、「言いたい放題会」にしてはいかがでしょうかと提案させていただきました。とはいっても、話というのはその場の雰囲気や相手の方々の度量によってもまとまり具合が変わります。参加された皆さんに対して感謝・感謝の会となりました。

また、奈良県今井町の若林さん御夫妻や毎年狼煙の撮影に来て下さる高木さんなど外部の方々のご参加もあり、多岐にわたり皆さんのお話を伺うことができました。改名とはなりません、言いたい放題会が本音ですから大いにご参加を!いかがでしょうか。

**【新春恒例行事参加人数まとめ】**

〈木曾谷狼煙あげ〉

・南木曾町：妻籠城址、大妻籠、馬籠峠、
愛宕山城址(三留野)、柳野、十二兼

6か所 40名

・大桑村：和村下、弓矢、殿中 **3か所 36名**

・上松町：上松小学校、倉本、西小川
3か所 25名

・木曾町：関山公園、小丸山、上田、越立峠、
宮ノ越 **5か所 59名**

・木祖村：水の始発駅公園、菅きさらぎ公園
2か所 61名

・塩尻市：奈良井丸山公園 **1か所 10名**

〈合計〉 20か所 231名

〈新春放談会〉

財団事務所ホール **18名**

木曽谷新春狼煙あげ 2022年1月4日10時30分

木祖村 湯川 喜義

木祖村は2ヶ所で行ないました。

参加者は、藪原地区(木曽川・水の始発駅公園(河川敷))で35名、菅地区(きさらぎ運動公園)で26名の老若男女計61名でした。

天気は雪、気温は約-1℃、風は南約3m/s と好ましくない状態でしたが、煙は勢い良くモクモクと出て、雪の舞う中冬季にふさわしい狼煙あげを行うことができました。

昨年は「コロナ退散」を願いお陰さまで深刻な事態にならなかったことを振り返り、今年は参加者皆で縁起物の豆餅をいただき「コロナ終息」を強く祈念しました。



〈木祖村:水の始発駅公園〉



〈上松町:上松小学校〉



〈塩尻市:奈良井丸山公園〉



〈木曽町:関山公園〉

木曽町宮ノ越 三澤 昌孝

日義の狼煙あげは旗挙八幡宮境内で行いました。旗挙八幡宮は宮ノ越宿の北、高台にあり、木曽義仲挙兵の地として知られております。

今年1月から放送されている NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では木曽義仲、巴御前も登場すること。木曽義仲役を青木崇高さん、巴御前を秋元才加さんが演じられるとのことで楽しみです。

雪の中、立ち上る煙を見ながら戦乱の世に思いを馳せ、参加者一同今年の平穏を祈りました。



〈木曽町宮ノ越:旗挙八幡宮〉



〈大桑村:殿中・和村下・弓矢〉

奥ジャパン(株)妻籠支店 窪 美 靖

一昨年、昨年に続き、新春の恒例行事、「木曽谷狼煙あげ」に参加してきました。今年は雪の積もる馬籠峠に出陣です。

それにしても寒いです。手がかじかんで大変でしたが、用意された松の葉などを一カ所に積んでいきます。ドラム缶でこしらえた円筒状の筒を二つ重ねて、その上に組み立てます。これで煙が高く上がっていく仕組みです。準備が出来たところで、10時半に点火。もくもくと煙が上がっていきます。

昔の人はこんな手段で通信していたのかと思うと感慨深いです。例年は観光客の飛び入り参加もあったりするそうですが、今年は天候のせい、はたまたコロナ禍のせい、地元の人たちだけで行った狼煙上げでした。

妻籠から始まった狼煙上げは、木曽郡内に広がり、今年で16回目。(今年は20カ所で総勢230名ほどが参加)自分たちで準備して、火をつけ、煙を上げることが楽しい遊びにもなっていて、素晴らしい取り組みだと思います。私自身はただ参加しているだけでしたが、色々と準備をされた皆様には本当に頭が下がります。また、このような貴重な機会をいただき、とてもありがたく、この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



〈愛宕山:まず山登りから〉



〈大妻籠〉



〈榎野〉



〈上:愛宕山からの城山〉



〈十二兼〉



〈馬籠峠頂上〉

【文化財防火デー 今年も中止】

総務委員長 今 井 啓 文

コロナ禍の中、昨年中止となった防災訓練は町内にも新たな変異株が影を落とし、中止となりました。

今回は「地震等災害時における避難経路の確認」のテーマで行う予定で準備してきました。昨今は気候変動のせいか台風や土石流、地震など、各地で大きな被害をもたらしています。幸いながら当地区においては大きな被害はなく過ぎておりますが、いつ、どんな災害が降りかかってくるか、決して安心できる環境ではありません。災害時、地元住民はもちろんですが、地理情報を知らない観光客の皆様の避難誘導も重要な役割となります。

今回は中止となりましたが、避難場所や通路、又危険個所の確認と見直しなど、改めて行いたいと思います。又、今まで行ってきました消火栓やAEDなども忘れないように反復していただければと思います。

末尾になりましたが今回準備、ご指導いただきました教育委員会の宮川さん、役場の吉村さんには感謝御礼申し上げます。

早くコロナが落ち着き安心できる日常生活が送れるように願わずにいられません。



宿 場 暦

- 11月2日：木曽観連撮影
 3日：町制施行60周年記念式典（理事長）
 5日：撮影許可審議委員会
 6日：令和3年度第3回観光地点パラメータ調査
 7日：町政報告会・リニア説明会（分館）
 8日：國學院大學『観光まちづくり』フォーラム（理事長）、氷雪の灯まつり実行委員会（常務）
 12日：三役会、全国町並みゼミ（～13日・不参加）
 16日：令和4年度元気づくり支援金事前相談
 20日：統制委員会、広報「妻籠宿」140号発行
 21日：木曽観光ガイド養成講座講師（南木曾会館:理事長）
 23日：第54回文化文政風俗絵巻之行列（中止）
 27日：第4回スキルアップセミナー（南木曾町観光協会）
 29日：案内用テキスト作成部会、学研プラス撮影
 12月7日：第2回史跡中山道保存活用計画策定委員会（理事長）、魅力向上実証事業委員会（理事長）
 8日：木曽地域文化遺産活性化協議会日本遺産紹介冊子作成部会、木曽谷狼煙あげ連絡会（木曽町:理事長）
 9日：南木曾町リニア中央新幹線対策協議会（理事長・常務）
 13日：氷雪の灯まつり実行委員会（常務）、三役会
 15日：衣装部会、妻籠宿案内人の会役員会・学習会
 16日：令和4年度地域発元気づくり支援金事業説明会（理事長）
 19日：しめ縄作り（分館）
 20日：統制委員会
 22日：広報部会
 24日：撮影許可審議委員会
 26日：理事会
 27日：アクアリング撮影
 28日：事務所仕事納
 1月 4日：新春放談会（18名）、第16回狼煙あげ（20か所・231名）、撮影許可審議委員会
 5日：夜回り開始（～3月2日）
 8日：信越放送撮影
 12日：妻籠宿案内人の会昼食会、文化財防火デー打ち合わせ
 13日：繭玉作り（観協女性部）、広域撮影
 14日：広域撮影
 17日：文化財防火デー打ち合わせ
 20日：統制委員会、三役会、撮影許可審議委員会

- 21日：木曽地域文化遺産活性化協議会活性化委員会（木曽町:理事長:中止）
 22日：第5回スキルアップセミナー（南木曾町観光協会:中止）
 25日：木曽風景街道推進協議会役員会（書面）、狼煙反省会（合庁:理事長:延期）、撮影許可審議委員会
 26日：文化財防火デー（中止）、広報部会
 28日：マリモレコース撮影
 30日：雑誌FIGARO撮影
 5日：第45回妻籠冬期大学講座（中止）

景観保持のため、宿場内での路上駐車はやめましょう!

統制委員会審議事項

- 11月22日
 ・配電線設備設置に伴う伐採（中電:256線沿い） 1件
 ・引込線新設（中電:旧妻籠小学校入口） 1件
 ・群状択伐（関電:渡島・馬籠峠他） 4件
 12月20日
 ・建具の変更（大妻籠:個人） 1件
 ・塀:漆喰及び雨樋修理（上町:個人） 1件
 ・竹林間伐・雑木伐採（町:渡島戦沢） 1件
 ・支線の新設（中電:下町） 1件
 ・堰板修繕工事（下町:個人） 1件
 ・砂防堰堤・流路工の建設（多治見砂防:地蔵沢） 1件
 [その他]
 ・令和3年度主要地方道中津川南木曾線道路改良工事（株名工土木）
 1月20日
 ・恋野地区農地復旧工事（町:恋野） 1件
 ・蘭川えん堤護床コンクリートブロック回収（関電:尾又橋～妻籠橋） 1件
 ・屋根修理（下町:個人） 1件

【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事前に統制委員会への届出が必要となります。申請用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

発行:公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曽郡南木曾町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

スキルアップセミナーに参加して

奥ジャパン(株)妻籠支店 窪 美 範 子

中山道魅力向上の一環として案内人のスキルアップセミナーが開催され、その第3、4回目に参加しました。

第3回目は、「伝統工芸品体験研修」。蘭松笠の家とヤマイチ小椋ロクロ工芸所で伝統工芸体験に挑戦しました。まずは蘭松笠の家で松のコースター作りです。2色の薄い短冊状の松を交差させ、模様を浮かび上がらせながら編んでいきます。1枚目は、なぜかオリジナル柄を編み出してしまいましたが、2枚目は助けていただきながら、なんとか完成。ろくろ体験では、千年以上も前に使われていた手引きろくろの複製を使い、木の平皿を削っていきます。簡単そうに見えて、刃の角度や押さえ方等なかなか難しく、殆ど手伝っていただきました。その後、電熱ペンで模様を描き完成です。

第4回目は、「一石栃立場茶屋&男埴山体験研修」。一石栃立場茶屋等の歴史を聞き、農機具を体験、男埴山国有林を見学しました。農機具体験では、薪割りと縄ない機に挑戦。薪割りは案の定、なかなか割れませんでした。縄ない機は意外とすんなりと出来、楽しかったです。男埴山国有林は普段は立入禁止のため、今回初めての見学でした。樹齢数百年の松や榎が何本も立ち並び、圧巻でした。

この度の伝統工芸・一石栃立場茶屋での体験や男埴山国有林の見学を通じて、木と共に生きてきた昔の人々の暮らしを想い、改めて木工品の良さにも気づくことが出来ました。今後は自身の生活にも伝統工芸品を少しずつ増やしていきたい、憧れの「丁寧な暮らし」に近づけていきたいと思えます。また伝統工芸等、ウォーキングだけではない中山道の魅力についてもお客様に伝えられるよう、勉強していきたいと思えます。ありがとうございました。



〈男埴国有林大径木〉

(一社)南木曽町観光協会 山 田 茉 央

「妻籠宿と中山道ハイキングの魅力向上実証事業」の一端として行われた、スキルアップセミナー全5回に参加しました。第1回、第2回は、観光のスペシャリストである佐藤博康先生と石山千代先生に、今後の観光について、理想的なガイド、インバウンドの視点や海外の観光事例など、とても興味深いお話をたくさんお聞きしました。日本は「コロナ終息後に行きたい国」のトップだそうです。今後、インバウンドを含め南木曽町を訪問して下さる方の満足度向上のために、今できることを考え準備していきたいと気合が入りました。また、佐藤先生に今に至る経緯をお聞きしたとき、「豊富な知識や経験が、多角的で柔軟な思考を生み出す」と改めて感じました。私も、もっと視野を広く幅広い分野を学び経験していきたいです。

第3回目以降は、松笠と同じ編み方でのコースター作り体験やろくろ体験、一石栃立場茶屋での農機具体験など、現地での体験を通して南木曽町の歴史や文化を学びました。特に、松笠を実際に編んでみるのは初めてで、想像よりもかなり難しかったです。昔から伝えられてきた伝統技術の凄さに感銘を受けると同時に、多くの方から愛されてきた理由が以前より深く分かりました。

今回のスキルアップセミナーに参加したことで、資料を読んでも得られないような細かくてリアルな情報や、今後の業務などに活かせるヒントをたくさん得ることができました。ありがとうございました。



上…一石栃立場茶屋薪割体験
下…ロクロ体験